

コロナ・
黒い雨

大平さん この声を必ず国会へ



コロナ禍のもと、大平喜信前衆議院議員は「感染防止」に注意を払いながら、各方面の方々と懇談、国政への生の声を聞く活動を繰り返し続けています。

9月8日には大畑美紀廿日市市議とともに日本三景「安芸の宮島」を訪ね、宮島観光協会と懇談。「コロナの影響で来島者は前年比で4割を切る落ち込みだ」「倒産こそまだ出てないもののこれが続けば今後どうなるかわからない」という深刻な声を聞きました。(写真上)



また、9月10日には、仁比そうへい前参院議員とともに「黒い雨」訴訟の原告団・支援する会の皆さんとの懇談をし、今後の控訴審も含めたたたかひの見通しと解決の展望について意見交換をしました。(写真下)

大平さんは、解散・総選挙が近づく中、「この声を必ず国会に届けるため、必ず議席奪還を」と全力投球です。

大平さん 特別月間成功へ 今月2人の入党者

大平さんは、「党勢拡大特別月間の成功は総選挙勝利の最大の保障」と全力を挙げています。

9月に入って広島県庄原市、広島市中区の吉島支部、岡山市中区高島支部などの「つどい」に参加。「つどい」では、医療、介護、農業、非正規雇用、気候変動、教育、過疎・人口減少、…など、幅広い分野にわたって話が弾みました。



大平さんはこの間、二人の入党者を迎えています。(写真は吉島支部の「つどい」)

中区後援会公式ライン 大平押し上げに全力

岡山市の「中区後援会公式ライン」は、今年に入って週1回、大平さんのツイッターをそのまま紹介するとともに、必ず自分の言葉でコメントを短く書き込んで配信しています。

また、大平さんの「黒い雨」問題の動画、小松泰信名誉教授との対談なども配信し、話題を呼んでいます。